



災害時における人権問題を考える！

平成 27 年 3 月に、県教委人権教育課から人権教育指導者用手引き書『“あわ” 人権学習ハンドブック プラス』が発行され、今年度、県下各地の学校で「災害時における人権問題」の学習が行われています。美馬中学校では総合的な学習や道徳の時間を中心に「災害と人権」についての学習に取り組み、放射線被ばくによる風評被害、避難所生活や災害時要援護者をめぐる問題などについて学習が進められました。オープンスクールや研究会では、「避難所における人権」について、避難所での要援護者の居場所について意見交換が行われ、これまでの学びを通して考えたことや気付いたこと、自分の考えが変わったところや自分にできることなどについて、子どもたちが堂々と意見を述べていました。



避難シミュレーション



避難所作り



避難所運営ゲーム(HUG)



学びを振り返って

防災デジタルコンテンツ（Web システム）を使って、フィールドワーク・マップ作りに挑戦！

吉野川市川田西小学校の 6 年生が、徳島大学知能情報工学科光原研究室チームの協力を得て、防災デジタルコンテンツ（Web システム）を活用した「防災マップ作り」を行いました。子どもたちがグループに分かれて地域に出て、GPS システムを搭載したタブレットを使って、発災時に危険だと思われるところや気になるところ、役立つところ等を撮影すると、写真や撮影場所、キーワードなどがグーグル・マップに自動的に重ねて表示されます。収集した情報は、教室で共有され校区全体の地図ができあがります。情報共有の時には、地域の方にも加わっていただき、これまでの歴史や経験からの情報も地図に足していきます。子どもたちからは「短時間で楽しく防災マップを作ることが出来た。」「地域の人との情報交換も一緒に画面を見ながら加えたり、説明したりできるので、とてもしやすかった。」「今年作ったデジタルマップを、来年の 6 年生が修正できるのもいい。」などの感想も語られました。今後タブレットを使って授業する機会も増えてくるでしょう。



タブレットで地域の情報を収集



タブレットで情報を確認



各班からの発表



地域の方も加わり情報を足す

あさんウォーキングフェスタ in いたの(4km まめっちゃコース)に「防災ミッション」登場！

4km のまめっちゃコースに「防災すだちくんを災害から守れ」というミッションが 3 箇所設置され、1000 人をこえる方が参加しました。第 2 ポイントでは、家族や仲間で、「すだちくん、早く、高く、逃げて！」と叫んでいました。



「こども防災書写作品展」作品募集！（応募者全員に参加賞有り）

12 月 1 日～1 月 15 日の間、小中学生対象に防災に関する書写作品を募集します。詳細は、要項を御覧ください。冬休みの宿題にさせていただいてもかまいません。どしどし御応募ください！